

お手入れ

お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。

本書のお手入れ方法や調整方法に従ってお手入れしてください。

- 汚れがいたら早めにお手入れしてください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみ、腐食やさびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。

【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（漂白剤、カビ取り剤など）は絶対に使用しないでください。



【キズへの配慮】

- たわしや金属たわしなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズがつくおそれがあります。
- 砂などがついたままふき掃除をすると、表面にキズがつくおそれがあります。

【電動商品の場合】

- お手入れの時、電装部品に水がかからないようにご注意ください。故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店または販売店にご相談ください。

【調整する場合】

- 商品の調整に電動ドライバーは使わないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめないでください。
商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する方法に従ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お手入れ方法

アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品

■ スチール製商品

- ・さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがいたら早めに洗い落としてください。
- ・ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていない鋼板に適したワックス（注1）を使ってお手入れする（注2）ことをおすすめします。

（注1）：（ワックスの一例） セラリカコーティングピュア

（注2）：ワックスを使用する場合には、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

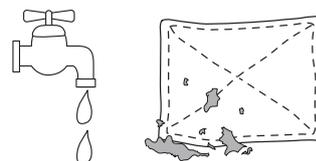
■ 樹脂製商品

- ・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。
- ・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

■ 通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

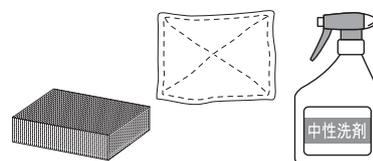
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

